

## 2021 年度日本海洋学会通常総会議事録

日時：2021 年 5 月 17 日（月）～25 日（火）

2021 年度の通常総会は、インターネットを通じた書面開催とし、審議事項の採決はインターネット上の投票により行った。会長挨拶と審議事項の採決の結果は以下のとおり。

### 1. 会長挨拶

今年度の通常総会開催にあたり会長の神田からご挨拶申し上げます。

2021～2022 年度も引き続き会長を務めることになりました。学会の確実な運営と海洋学の発展のため努力してまいり所存です。会員の皆様のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、今年度も春季大会（JpGU）はオンライン開催となり、日本海洋学会の通常総会についても昨年度と同様に、ウェブ上での資料確認と賛否投票という形式での書面開催とさせていただきます。通常総会は、前年度の事業報告・決算と今年度の事業計画・予算などを審議いただく年に 1 回の重要な機会です。多くの会員の皆様に学会の状況を確認いただき、審議へのご参加をお願いする次第です。昨年度の総会以来の喜ばしいお知らせとしては、昨年 10 月に花輪公雄会員、川幡穂高会員が海洋立国推進功労者表彰を受けられたことがあります。会員の皆様と共に祝いしたいと思います。一方、昨年 8 月 19 日に平野敏行名誉会員、本年 3 月 10 日に平啓介名誉会員が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

昨年度の秋季大会は、函館での現地開催を断念し、川合義美前幹事を実行委員長として学会幹事会メンバーがお世話する形でオンライン開催と致しました。学会の各賞授賞式、受賞記念講演もオンラインでの実施となりました。また 3 月の海洋生物シンポジウムもオンラインで開催いただきました。今年度の秋季大会は、東京大学大気海洋研究所所属の会員のお世話で 80 周年記念大会として開催予定ですが、少なくとも一部はオンラインでの実施とせざるを得ない見通しです。

また昨年度は、将来構想委員会の下に設置した「研究に関する将来構想ワーキンググループ」により、2012 年度以来となる研究の将来構想についてのとりまとめに向けた議論を行っていただきました。今回の研究に関する将来構想は、「極域」、「中緯度」、「熱帯域」、「沿岸域」、「深層」、「大気海洋境界」の 6 つの海域別グループと「新たな手法と問題」グループの計 7 グループにより検討いただき、議論の結果を 7 つの総説論文として「海の研究」に投稿いただく予定です。現在、原稿について学会員の皆様からのパブリックコメントを募集中です。岡英太郎前幹事をはじめワーキンググループの皆様のご尽力に感謝申し上げます。

昨年度も申し上げましたが、見通しの立てにくい感染症対応に加えて、学会にとっての課題も山積しております。特に長年の懸案である法人化についても、議論を開始すべきタイミ

ングと考えます。一方で、国連の「持続可能な開発のための海洋科学の10年」がスタートし、同時に日本海洋学会が創立80周年を迎える年でもあります。会員の皆様におかれましては、くれぐれも健康にご留意いただきながら、いろいろな意味で後の記憶に残るであろう2021年度を過ごしていただければ幸いです。皆様の研究活動への制約が早期に除かれることを祈っております。

日本海洋学会会長 神田穰太

## 2. 審議事項

出席会員数は170名（web投票者数122、委任状数48）であり、会則第28条より2021年度通常総会は成立した。下記の投票結果の通り、審議事項3件については、承諾が得られ、会則第29条により承認された。

### 記

web有効票数122票

審議事項1)	2020年度事業報告並びに決算報告について	承諾122	不承諾0
審議事項2)	2020年度監査報告について	承諾122	不承諾0
審議事項3)	2021年度事業計画並びに予算案について	承諾122	不承諾0

以上